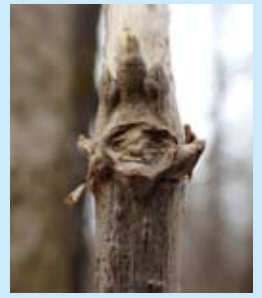




# エコネット通信

## VOL.37



さ〜てワタシは誰でしょう？（冬芽と葉痕）

森を 川を この里の自然を 子ども達へつなげたい！

ホームページ : <http://tono-econet.org/> フェイスブックでも情報発信中！

3. 0 r i t o . プ ロ ジ ェ ク ト

## 冬のモニターツアー開催！

講師はグロッセ氏

森林資源を活かしたm o r i t o プロ

ジェクトのモニターツアー冬編を、2月24日(土)〜25日(日)に開催しましたので、その様子をレポートします。24日の夜は満月で、タイトルは「満月の雪の森に包まれる極上の一夜」。メイン講師は、カナダのアウトドアスクールで学んだ経験を持つ、グロッセ龍太氏(花巻市在住)。当初は、グロッセさんの指導で雪洞をつくり、その中で泊まる予定でしたが、この冬は雪が極端に少なく、断念。ソロテントを持参することになりました。

夕ご飯は熊鍋と焼き火ご飯

参加者はスタッフや初日だけの参加者も含めて9名。森のがっこうに集合し、オーブニング。アイスブレイクのゲーム後に、重い荷物をまとめてオッホーの森へと登り始めました。途中でグロッセさんに、雪山の歩き



スノーシューを履いて森歩き。

斜面を滑らないで歩く方法も学びました。森の上の平坦部について休憩。その後、ツルでターザンなどをして、みな童心に返って遊びました。

途中からスノーシューを履いて、さらに奥へ歩いていき、宿営地に着きました。ここで、枯れ枝を集めて焼き火をし、テントを各自設営。その周りに風よけの雪を積み上げていきます。寝場所を確保したら、早めの夕ご飯の準備を。この夜は、いただいた有害駆除されたクマ肉を使ったクマ鍋。焼き火で野菜と一緒に煮込みます。飯ごうで炊いたご飯とクマ鍋の極上の夕ご飯をいただきました。

満月の下でのナイトハイク

夕ご飯を食べ終わる頃に、太陽が西の山々へと沈んでいき。やがて、まん丸お月様が東の山から昇ってきました。焼き火を囲みながら、夕闇が濃くなるのを待ち、やがて、このツアーのメインプログラムとなるナイトハイクへ。何も喋らず、前の人が見えなくなる



ミズナラの大木。

くらいの距離を保って歩きます。聞こえるのは、自分が雪を踏みしめる足音のみ。雲が月明かりを隠すと、森はより神秘的な世界へと。凍える寒さの中、朝を迎えました。何人かはよく眠れず、焼き火で暖を取り夜を明けました。パンとスープの朝食で暖まった後に、森との対話プログラム。自分が惹かれる場所で、静かに森とお話しをします。何もしないで、森に佇むという体験は、どこでも簡単にできるようですが、参加者にとっては、一番豊かな時間になったようです。

その後、テントを撤収し荷物を整えて、森を下山。開放感がある牧草地を抜けて森のがっこうに戻りました。お昼ご飯は、イタリアンレストラン「おのひづめ」菅田シェフのアウトドア料理。地域のこだわりの食材を活かした絶品料理が、身も心も癒してくれます。最後に焼き火を囲んで、ツアーの感想を語り合い、濃厚な2日間を終えました。



ナイトハイクを終え、焼き火を囲んでの語らい。

## 森のデイキャンプ「おひさまのねっこ」&森のようちえん「どんぐりのぼうし」 2/10(土) 3/9(土)

2月は幼児親子に小学生合わせて10名の参加者と岩手大学の学生4名を含むスタッフ10名で開催しました。この日は快晴の天気となり、小学生組は、お昼ご飯を持ってオッホーの森へ出かけ、森の中で雪遊び等を楽しみました。幼児組は、田んぼや森で雪遊びやソリ滑りをしたり。みんな戻って来てからは、焚き火で沸かしたお湯でお茶とお菓子をいただきました。

3月の参加者は幼児親子に小学生合わせて22名となり、スタッフ5名で開催しました。この日は、雪がいっぱい積もっていたので、近くの牧草地へ出かけて行きソリ遊び。雪質がソリ滑りには最高の状態で、どこまでも滑って行けます。子どもも大人も、滑っては斜面を登ってを繰り返す。思いっきり楽しめました。お昼は森のがっこうに戻り、焚き火をしてお昼ご飯。午後は、雪遊びなどをして自由に過ごしました。



2月の森のデイキャンプは、森の中でお昼ご飯。



デイキャンプ&ようちえんでは、小学生が幼児と遊ぶ姿も。

## 森楽倶楽部 3/2(土)

松崎町にある遠野薪の駅周辺の森での自然観察をする森楽倶楽部。今年度5回目は、雪が降る天候のため参加者が3名と少なかったですが、講師の奥畑充幸氏(宮古市川井タイマグラ)に案内いただきながら、樹木の冬芽を中心とした観察を行いました。冬芽とは、樹木の花や葉が展開するまえの蕾で、その形や大きさ、また葉痕(葉が落ちた跡)の形が種ごとに特徴があり、その違いを見つけるのが楽しいです。種類によっては、サルやヒツジなどの動物や宇宙人?の顔のようにも見えます。この時期ならではの冬芽観察。あなたも、庭の木の冬芽を観察してみたいかでしょうか。令和6年度からは、「森歩きを楽しむ会」と名称を変更して開催します。



3月のデイキャンプでは、ソリ遊びを楽しみました。

## 森業倶楽部 2/25(日) 3/17(日)

2月の森業倶楽部の参加者は7名、3月は11名。菊池光典氏(木暮工房)に指導いただきながら、5月から自分で設計して作り始めた間伐材の木工作品が、いよいよ形になってきました。最後のやすりがけや、塗装を終えて満足感に浸る人もあれば、まだ完成には至らず、家に持ち帰り作る人もあります。人それぞれのペースですが、楽しんで木と触れ合えれば、それだけでもこの倶楽部の意義はあると感じています。令和5年度参加者の作品展を、4月13日(土)～21日(日)まで、ショッピングセンターとびあ1階センターコートにて開催します。お近くにお越しの際は、ぜひご覧下さいませ。



3月の森業倶楽部にて、冬芽の観察を指導する奥畑氏(右)。

## 森フェス2024in遠野実行委員会 3/7(木)

より多くの市民に、森の豊かさ美しさを感じて欲しい。そんな願いから、2022年夏に初開催した森フェス。昨年は夏2日間の他に秋も1日開催してきましたが、今年も森フェスを開催しようと、実行委員会をオンラインで開催しました。この日の参加者は5名ほどでしたが、開催日を9月15日(日)の1日で、午前10時から始めて、終了は午後9時頃まで行い、夜の森も楽しむという大枠が決まりました。また、できれば今年はシャトルバスも運行できないかと検討中です。実行委員会は、毎月1回程度開催予定です。一緒に森フェスを盛り上げてくれるスタッフを随時募集していますので、興味ある方はご一報下さいませ。



3月の森業倶楽部。やすりをかけて、完成間近です！

# 活動報告（2月～3月）

## 山仕事ははじめの一步(入門)講座 2/11(日) 3/10(日)

2月の講座は、松崎地区センターの会議室にて、チェーンソーの目立てとロープワークを実習しました。この日は10名が受講し、6名のスタッフが参加しました。チェーンソーの目立て実習は、以前も雨天時に行いましたが、一度で身体に覚え込ませるのは難しい技術の一つ。切れないチェーンソーは、無理に力をかけてしまうので、大変危険であり、また、チェーンソーの故障や燃料の消費増大につながり、良いことが全くありません。みんな真剣に取り組みました。

3月の講座は今年度の最終日。これまで学んだことのまとめと、「追いヅル伐り」という伐採方法を実習しました。この日の受講生は10名で、その他に講師スタッフ7名が参加。これまでの実習では、直立している杉を間伐していましたが、この日はアカマツの片側に傾いている木(偏心木)の間伐実習。いままでより難易度が高くなりました。このような傾いた木を普通に伐ると、避け上がって折れたりして、非常に危険です。そこで「追いヅル伐り」というチェーンソーのバーを木に突き刺して行う伐採方法を学びました。実習終了後は、皆勤賞と準皆勤賞の表彰式を。また、希望者は松崎地区センターにて、チェーンソーの特別教育講習も行いました。



2月の山仕事講座では、チェーンソーの目立てを実習。



3月の山仕事講座では、追いヅル伐りを習いました。

## 薪づくり倶楽部&森の笠地蔵プロジェクト 2/4(日) 3/3(日)

2月の薪づくりは、14名の参加者と2名のスタッフでの薪づくり。例年2月は、雪かきから作業開始となるのですが、この日の薪の駅には、ほとんど雪がない状態。順調に薪づくりを行いました。

3月の薪づくりは、2月と一転し雪が降りしきる中、6名の参加者とスタッフ2名での薪づくりを行いました。また、この日は、森の笠地蔵プロジェクトとして、午前中に綾織町一人暮らし高齢者宅に、午後は附馬牛町と綾織町の高齢者宅に軽トラック各2台分の薪を配達しました。



2月の薪づくりは、雪がない状態で順調にできました。

## 間伐倶楽部 2/24(土)

2月の間伐倶楽部は6名で、松崎町の実習林で間伐作業を実習しました。以前、山仕事講座に参加した方も、久しぶりに参加。こうやって、空いた時間にも、時々チェーンソーを持って実習することで、勘が衰えるのを防ぐことができます。5月から、間伐倶楽部は再開しますので、しばらく山に入れていない方も、気分転換に良い汗流しにいらしてくださいませ。



間伐倶楽部には、女性参加者も来てくれています。

## 福島県林業研究グループ等活動発表会・講演 2/1(木)

「みちのく薪びとまつり」の縁で、福島県の郡山市にある林業研修センターで開催された「林業研究グループ等活動発表会」で、当会の活動を代表の千葉が講演してきました。この日は、午前中に福島県内の森林に関わる団体や大学生の活動報告が行われ、午後からが講演。参加者は、皆森林への関心が高い人ばかりなので、熱心に聞いていました。また、講演の最後には、千葉が山仕事講座から生まれた「間伐ブルース」を歌い、参加者達も「間伐、間伐」と一緒に歌っていただきました。質問では、「どうして、こんなに多様な活動ができるのか?」と聞かれました。活動を継続する中で、縁が広がり、活動の中が自然に増えていることを、再認識できました。



福島での講演の最後に「間伐ブルース」を歌う代表の千葉。

## 主な活動の予定（4月～5月）

月日	タイトル	内容	活動場所
4/6(土)	ウタリの会	稲の種まき、畑作業体験	森のがっこう
4/7(日)	薪づくり倶楽部/森の笠地藏P	薪づくり、薪配達他	薪の駅、高齢者宅
4/13(土)～21(日)	森業倶楽部作品展	R5参加者の木工他作品展示	とぴあセントラルコート
4/20(土)	森のがっこうオープニングイベント	開所式、体験会他	森のがっこう
4/21(日)	田瀬湖一斉清掃&ごみ川柳大会	田瀬湖の清掃、ごみ川柳大会	東和B&G海洋センター
4/27(土)	どんぐりのぼうし	森のようちえん	森のがっこう
5/3(土)～4(日)	親子ではじめてのキャンプ	キャンプ初心者向け体験会	森のがっこう
5/4・11(土)	「すっぴん土曜日」放送(代表千葉)	エコネットの活動紹介予定	IBCラジオ(8時35分頃)
5/5(日)	薪づくり倶楽部/森の笠地藏P	薪づくり、薪配達他	薪の駅、高齢者宅
5/9(木)	水源の森づくりプロジェクト①	森林の役割と植樹事前学習	土淵小学校
5/11(土)	森歩きを楽しむ会・春編	春の森の自然観察他	森のがっこう
5/12(日)	山仕事はじめの一步(入門)講座	安全講習/林分調査	松崎実習林他
5/16(木)	どんぐりのぼうし・赤ちゃん編	乳児対象の森のようちえん	森のがっこう
5/21(火)	水源の森づくりプロジェクト②	植樹、シカ防除危惧設置他	琴畑高原
5/25(土)～26(日)	子どもの救命救急法講習(EFR-CFC)	救命救急法国際資格取得講習	森のがっこう
5/25(土)	間伐倶楽部	間伐・集材体験	松崎実習林
5/26(日)	森業倶楽部	間伐材を利用した木工	薪の駅

### 【編集後記】

令和6年度が始まりました。各地でバッケ(フキノトウ)を食べたとか、フクジュソウが咲いたなど、春の訪れをやっと実感できる様になりました。当会では、森のがっこうが本オープンとなり、多くの方々にお越しいただける様に、スタッフ一同で準備を整えています。ホームページにて、詳細はご覧下さいませ。

また、これまでの活動も継続して行っていきます。4月21日には、田瀬湖でのごみ川柳大会もあります。薪の駅プロジェクトや水源の森づくり、森の笠地藏プロジェクトなども昨年同様に実施して行きます。遠野の豊かな自然を後世に残して行くために、これからもご支援の程よろしくお願い致します。(千葉)

発行:NPO法人遠野エコネット

令和6年4月1日発行

岩手県遠野市附馬牛町上附馬牛19-530

Tel&Fax 0198-64-2250

E-Mail:pahaya@tonotv.com



完成したオッホーの森の家を見に入らせて下さい！

## 森のがっこう使い その6 いよいよ本オープン！

4月20日(土)森のがっこうオープニングイベントを開催します。昨年6月にプレオープンしてきましたが、やっとメイン施設となる「オッホーの森の家」が完成し、本オープンとなります。この日は、10時から遠野市長などの

来賓をお招きしての開所式典。その後、大出早池峰神楽の奉納や、当会代表が歌うデクノボーブラザーズなどのミニコンサート。おのひづめ・つくしファミリー・マメヒコさんのマルシェや、森歩き・飾り炭づくり・薪割りなどの体験会も行います。

もちろん、完成ホヤホヤの森の家の内覧会もあります。見どころは、当会が森林整備で間伐した木が、ふんだんに使われているところ。薪ストーブと薪ボイラーも設置しています。

当日の来場者には、森のがっこうの可愛いロゴ入りステッカーを無料配布予定です。イベントは午後3時に終了。お早めに入らして下さい。また、森のがっこうのホームページも公開開始となります。ぜひ、ご覧下さいませ。